少子化に関する県民意識調査結果の概要

○調査の概要

1 調 査 名 称：出会いから結婚・子育てまで切れ目のない支援のための県民意識調査

2 調 査 目 的：県民の皆様の考えを聞き、出会いから結婚、子育てまで切れ目のない支援を推進していくうえでの基礎資料とする

3 調査対象者：18歳以上39歳までの県民4,000人（各市町村の選挙人名簿より抽出）

4 調 査 項 目：(1)「結婚」「妊娠・出産」「子育て」等の環境について
(2)「結婚」「妊娠・出産」「子育て」への支援の取組について
(3) 出会い・結婚について
(4) 子育てについて
(5) 女性の活躍とワークライフバランスについて

5 調査の方法：郵送WEB併用

6 調 査 期 間：令和８年８月31日～９月14日までの15日間

7 有効回収数：1,350人（有効回収率33.8%） ※郵送回答 766人、Web回答 584人

〈性　別〉
男　性　550人（40.7%）
女　性　786人（58.2%）
その他　7人（0.5%）
無回答　7人（0.5%）

〈年代別〉
18歳～24歳　379人（28.1%）
25歳～29歳　285人（21.1%）
30歳～34歳　342人（25.3%）
35歳～39歳　326人（24.1%）
無回答　18人（1.3%）

〈子どもの有無〉
子どもあり　379人（28.1%）
子どもなし　687人（50.9%）
無回答　284人（21.0%）

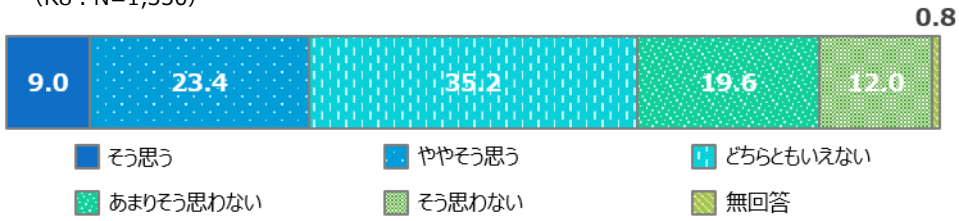
〈結婚の状況〉
既婚　427人（31.6%）
未婚　878人（65.0%）
その他　37人（2.7%）
無回答　8人（0.6%）

令和８年１０月
高知県元気な未来創造課

調査結果の概要　①結婚・子育ての安心感

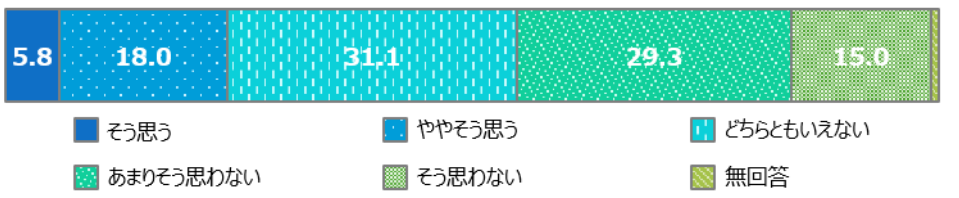
（１）高知県が「『安心して「結婚」できるような社会』になっている」か

◆回答者平均における「そう思う」「ややそう思う」の割合は、**32.4%**。
（結婚している人：42.4%）（未婚者:28.6%）
（子どもがいない人：33.2%）（子どもがいる人：39.3%）
（R8：N=1,350）



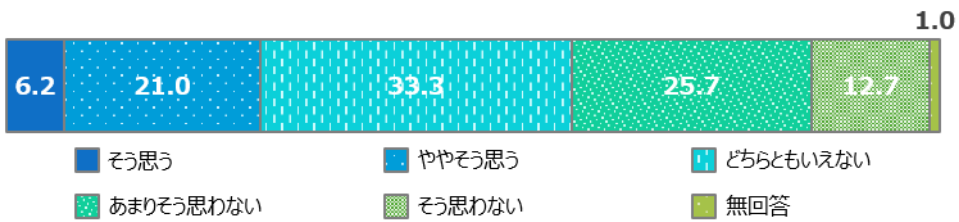
（２）『安心して「妊娠・出産」できるような社会』になっている」か

◆回答者平均における「そう思う」「ややそう思う」の割合は、**23.8**%。
（子どもがいない人：24.2%）（子どもがいる人：27.4%）
（R8：N=1,350）



（３）『安心して「子育て」できるような社会』になっている」か

◆回答者平均における「そう思う」「ややそう思う」の割合は、**27.2**%。
（子どもがいない人：28.2%）（子どもがいる人：32.2%）
（R8：N=1,350）



（%）

（１）結婚	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
結婚している人（N=427）	14.3	28.1	30.7	17.8	8.4	0.7
未婚者（N=878）	6.3	22.3	37.1	19.7	13.8	0.8

	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
子どもがいない人（N=687）	8.9	24.3	36.4	18.2	11.9	0.3
子どもがいる人（N=379）	12.7	26.6	29.6	20.3	9.8	1.1

（２）妊娠・出産	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
子どもがいない人（N=687）	5.4	18.8	33	28.2	14.3	0.3
子どもがいる人（N=379）	8.4	19.0	21.1	35.4	15.0	1.1

【参考】子どもがいる人	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
子ども１人（N=147）	10.9	17.0	21.8	29.9	20.4	-
子ども２人（N=156）	6.4	19.9	24.4	37.2	10.3	1.9
子ども３人以上（N=76）	7.9	21.1	13.2	42.1	14.5	1.3

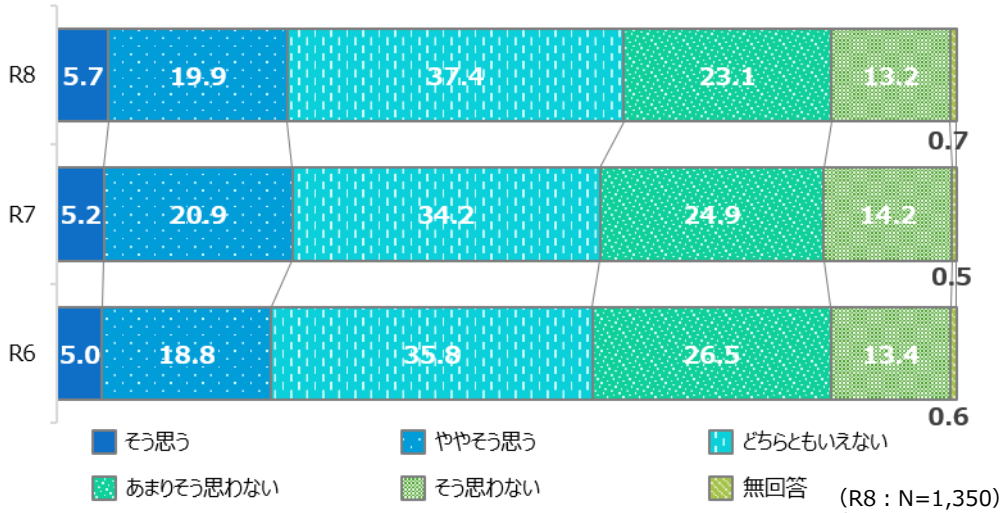
（３）子育て	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
子どもがいない人（N=687）	6.4	21.8	35.2	23.9	12.2	0.4
子どもがいる人（N=379）	8.2	24.0	25.1	29.3	12.4	1.1

【参考】子どもがいる人	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
子ども１人（N=147）	10.2	20.4	27.2	27.2	15.0	-
子ども２人（N=156）	5.8	28.2	21.2	32.1	10.9	1.9
子ども３人以上（N=76）	9.2	22.4	28.9	27.6	10.5	1.3

調査結果の概要　①結婚・子育ての安心感

（４）高知県が「『安心して「結婚」「妊娠・出産」「子育て」できるような社会』になっている」か

◆回答者平均における「そう思う」「ややそう思う」の割合は、**25.6**%（対前年0.5%減）



（R8：N=1,350）
（R7：N=1,391）
（R6：N=1,514）

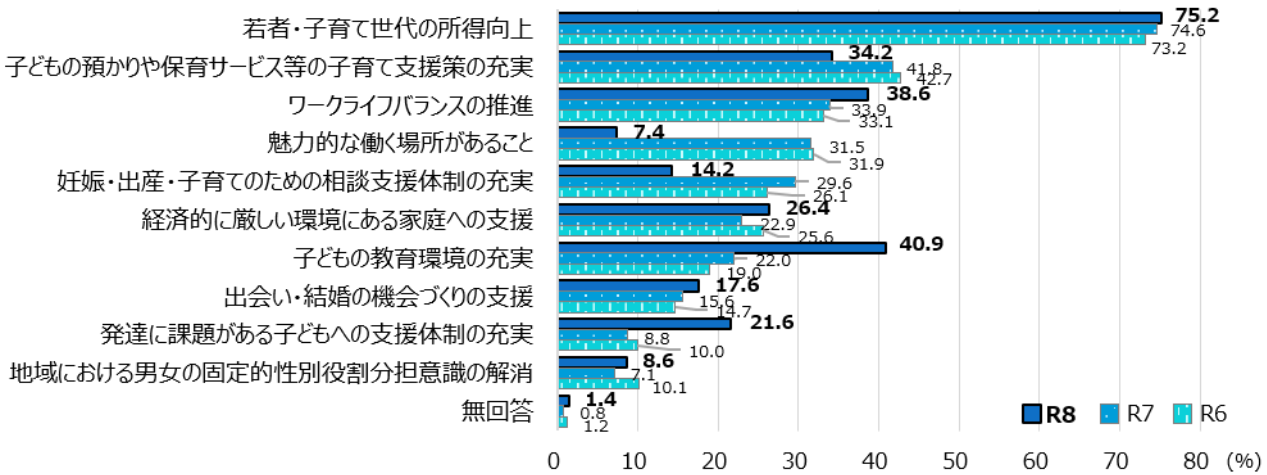
◆子どもがいる人は、「そう思う」「ややそう思う」の割合が子どもがいない人よりも大きく（子どもがいる人:30.3%　子どもがいない人:25.2%）子どもの数が多い人ほど割合が大きい。

（%）

	調査年度	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
子どもがいない人 (R8：N=687) (R7：N=691) (R6：N=711)	R8	5.4	19.8	39.3	21.8	13.4	0.3
	R7	4.9	19.8	35.9	25.0	13.7	0.6
	R6	6.0	18.4	36.6	27.1	11.7	0.1
子どもがいる人 (R8: N=379) (R7: N=377) (R6: N=419)	R8	7.9	22.4	30.6	25.1	13.2	0.8
	R7	5.8	24.7	28.4	26.0	14.9	0.3
	R6	4.1	21.7	29.4	28.4	15.8	0.7

【参考】子どもがいる人	調査年度	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
子ども１人 (R8：N=147) (R7：N=115) (R6：N=167)	R8	8.8	21.1	29.3	25.2	15.6	-
	R7	5.2	26.1	29.6	26.1	13.0	0.0
	R6	5.4	19.2	28.7	28.7	16.8	1.2
子ども２人 (R8：N=156) (R7：N=177) (R6：N=167)	R8	5.8	24.4	34.6	24.4	9.6	1.3
	R7	5.1	22.0	28.2	27.1	16.9	0.6
	R6	1.8	24.0	25.1	31.7	16.8	0.6
子ども３人以上 (R8：N=76) (R7：N=85) (R6：N=85)	R8	10.5	21.1	25.0	26.3	15.8	1.3
	R7	8.2	28.2	27.1	23.5	12.9	0.0
	R6	5.9	22.4	38.8	21.2	11.8	0.0

（５）『安心して「結婚」「妊娠・出産」「子育て」できるような社会』の実現のために注力すべき施策



○【参考】子どもがいない人(R8　N＝687　)

1	**若者・子育て世代の所得向上**	**75.8%**
2	ワークライフバランスの推進	40.6%
3	子どもの預かりや保育サービス等の子育て支援策の充実	37.7%
4	魅力的な働く場があること	35.7%
5	妊娠・出産・子育てのための相談支援体制の充実	26.9%

※「子どもがいる人」(N＝379) は、
1位は、子どもがいない人と共通。
2位が「子どもの預かりや保育サービス等の子育て支援策の充実」、
3位に「ワークライフバランスの推進」がつづく。

調査結果の概要　②こどもまんなか社会の実現について

（１）高知県が、「『こどもまんなか社会の実現』に向かっている」か

◆回答者平均における「そう思う」「ややそう思う」の割合は、**16.3%**。
（子どもがいない人：17.6%）　（子どもがいる人：19.0%）
（18-24歳：23.5%）　（25-29歳：13.3%）
（30-34歳：14.1%）　（35-39歳：　13.5%）



（R8：N=1,350）

（%）

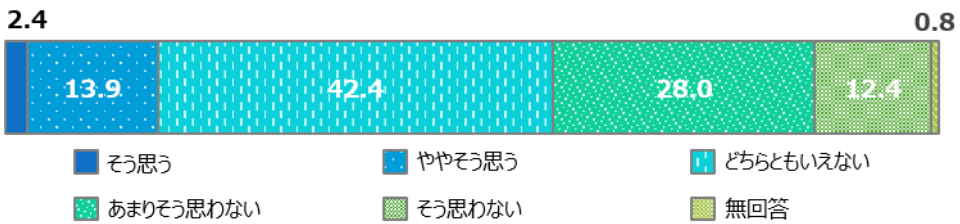
（１）こどもまんなか社会の実現	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
子どもがいない人（N=687）	2.9	14.7	41.9	29.0	11.1	0.4
子どもがいる人（N=379）	2.9	16.1	37.5	28.5	14.2	0.8

【参考】子どもがいる人	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
子ども１人（N=147）	2.7	15.0	37.4	29.9	15.0	-
子ども２人（N=156）	3.2	16.0	39.1	26.3	14.1	1.3
子ども３人以上（N=76）	2.6	18.4	34.2	30.3	13.2	1.3

【参考】年齢階層別	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
18-24歳	4.0	19.5	41.2	25.9	9.0	0.5
25-29歳	1.4	11.9	40.0	33.3	12.3	1.1
30-34歳	1.8	12.3	47.1	24.0	14.6	0.3
35-39歳	2.5	11.0	40.8	30.4	14.1	1.2

（２）「こども政策が、こども・若者の意見を反映させたものになっている」か

◆回答者平均における「そう思う」「ややそう思う」の割合は、**16.3**%。
（子どもがいない人：12.1%）　（子どもがいる人：13.2%）
（18-24歳：17.2%）　（25-29歳：　8.8%）
（30-34歳：8.8%）　（35-39歳：　8.2%）



（R8：N=1,350）

（２）こども政策	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
子どもがいない人（N=687）	1.5	10.6	49.8	24.9	12.7	0.6
子どもがいる人（N=379）	1.6	11.6	35.9	33.8	16.4	0.8

【参考】子どもがいる人	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
子ども１人（N=147）	1.4	12.9	36.1	34.0	15.6	-
子ども２人（N=156）	1.9	12.2	35.9	32.7	16.0	1.3
子ども３人以上（N=76）	1.3	7.9	35.5	35.5	18.4	1.3

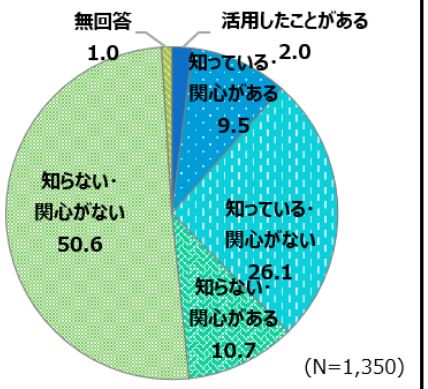
【参考】年齢階層別	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
18-24歳	2.4	14.8	46.2	24.3	11.6	0.8
25-29歳	0.7	8.1	46.0	30.2	14.0	1.1
30-34歳	0.7	8.1	46.0	30.2	14.0	1.1
35-39歳	1.5	6.7	42.0	30.1	18.4	1.2

調査結果の概要　③各施策の認知度

（１）出会い・結婚支援の取組

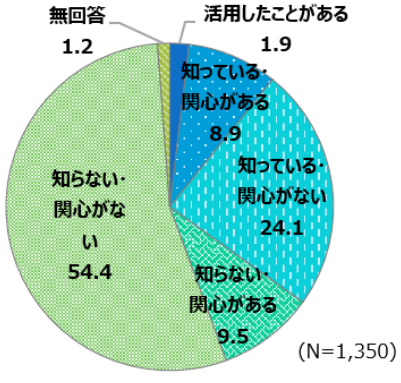
◆出会い・結婚支援の取組についての認知度は「こうち出会いサポートセンター」が昨年比で最も上がっている(+2.3%)。

①「こうち出会いサポートセンター」



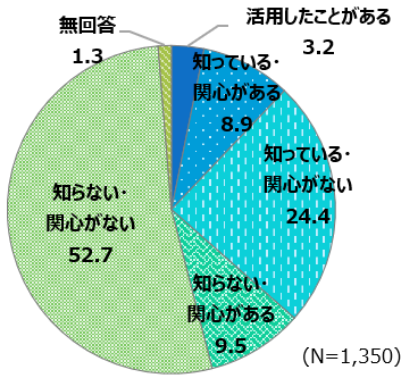
認知度	37.6%【R7:35.3%】

②マッチングシステム



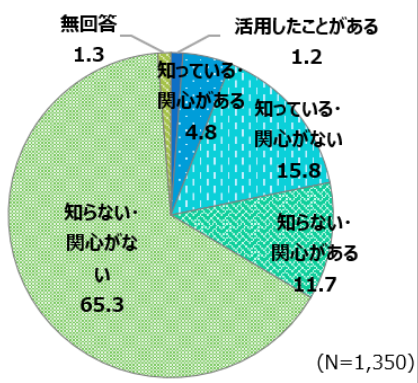
認知度	34.9%【R7:35.0%】

③出会いイベント



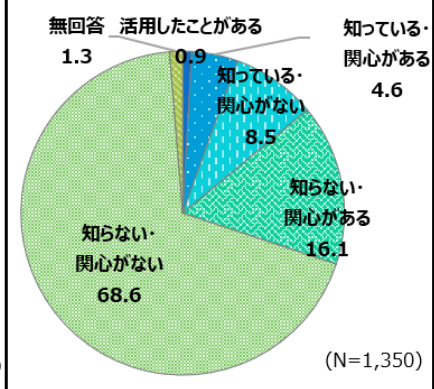
認知度	36.5%【R7:36.0%】

④婚活サポーター



認知度	21.8%【R7:20.9%】

⑤NEW STEP

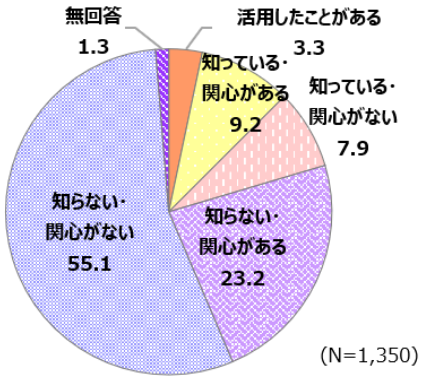


認知度	14.0%【R7:13.0%】

（２）子育て支援の取組

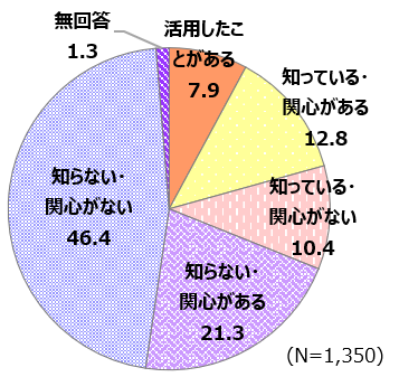
◆子育て支援の取組についての認知度はすべての取組で昨年よりも低くなっている。

①子育て支援ポータルサイト「こうちプレマnet」



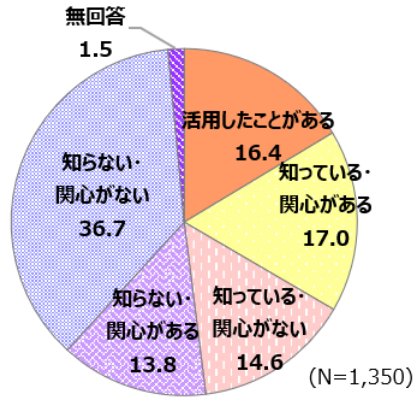
認知度	20.4%【R7:23.3%】

②こうち子育て応援の店



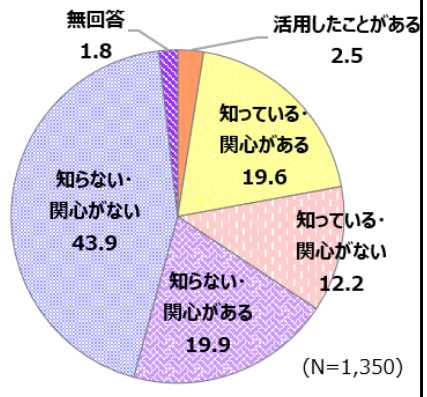
認知度	31.1%【R7:33.6%】

③地域子育て支援センター



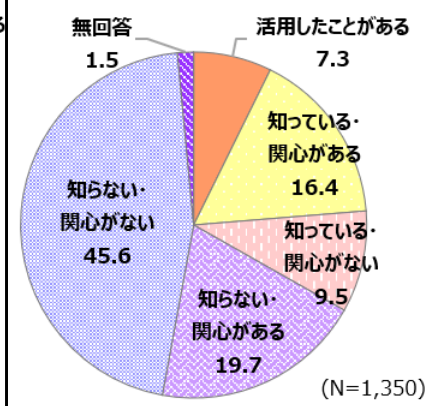
認知度	48.0%【R7:49.6%】

④ファミリー・サポート・センター



認知度	34.3%【R7:38.5%】

⑤産後ケア事業

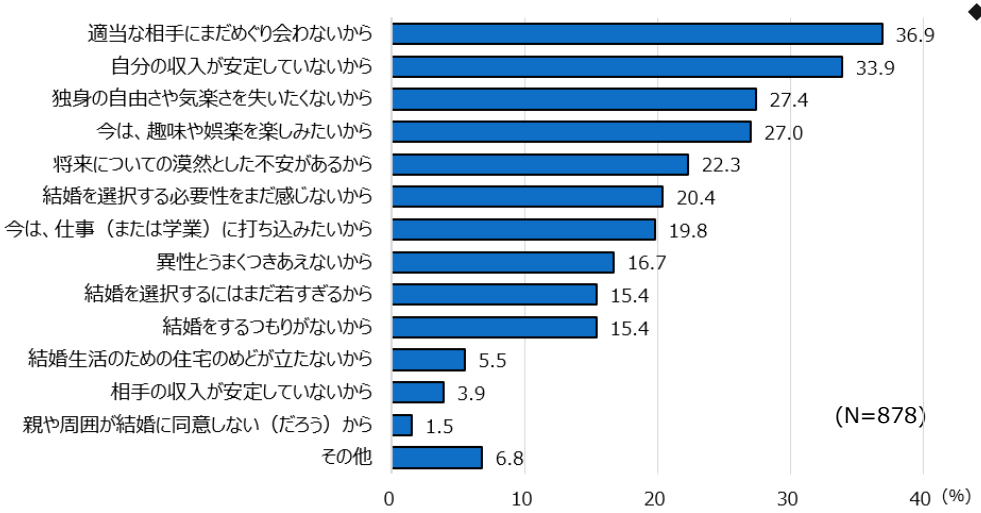


認知度	33.2%【R7:36.8%】

調査結果の概要　④出会い・結婚について

（１）未婚者が結婚を選択しない理由

◆いずれの年代でも「適当な相手にまだめぐり会わない」という理由が大きいものの、収入に対する不安も影響している。
◆年代別にみると、年代が高くなるほど結婚の必要性を感じている。



◆年代別の内訳

	適当な相手にめぐり会わない	収入が安定していない	独身の自由さや気楽さを失いたくない	結婚を選択するにはまだ若すぎる	仕事（学業）に打ち込みたい	結婚を選択する必要性をまだ感じない	結婚するつもりはない
18-24歳	34.8%	32.6%	16.0%	35.1%	34.0%	21.2%	7.9%
25-29歳	39.9%	35.8%	29.4%	2.3%	12.8%	20.2%	14.7%
30-34歳	38.6%	30.7%	41.6%	-	7.8%	20.5%	23.5%
35-39歳	37.2%	38.0%	39.7%	0.8%	5.0%	18.2%	28.9%

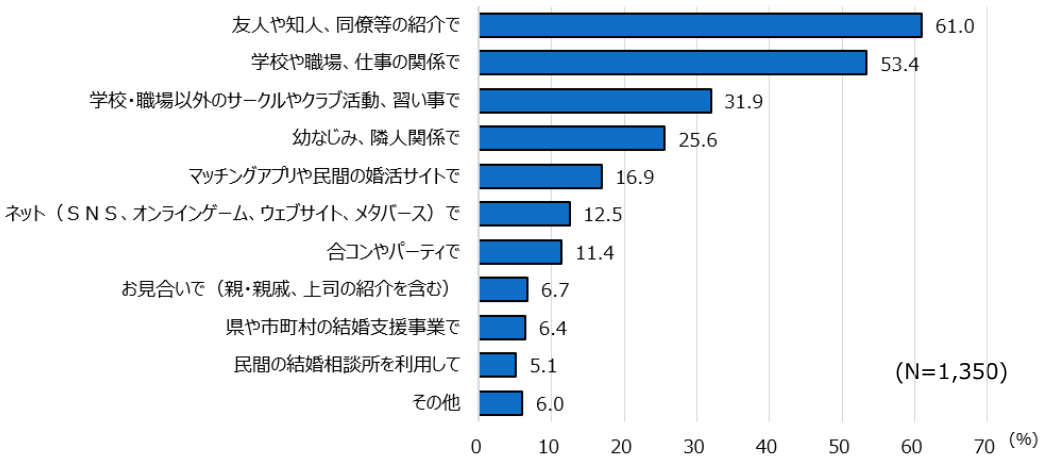
＜参考＞　出会いを求めるための行動（年齢層別）１位及び２位

1位	友人や知人、同僚等の紹介で
18-24歳	62.8%
25-29歳	61.1%
30-34歳	60.2%
35-39歳	59.5%

2位	学校や職場、仕事の関係で
18-24歳	59.9%
25-29歳	43.9%
30-34歳	55.0%
35-39歳	52.5%

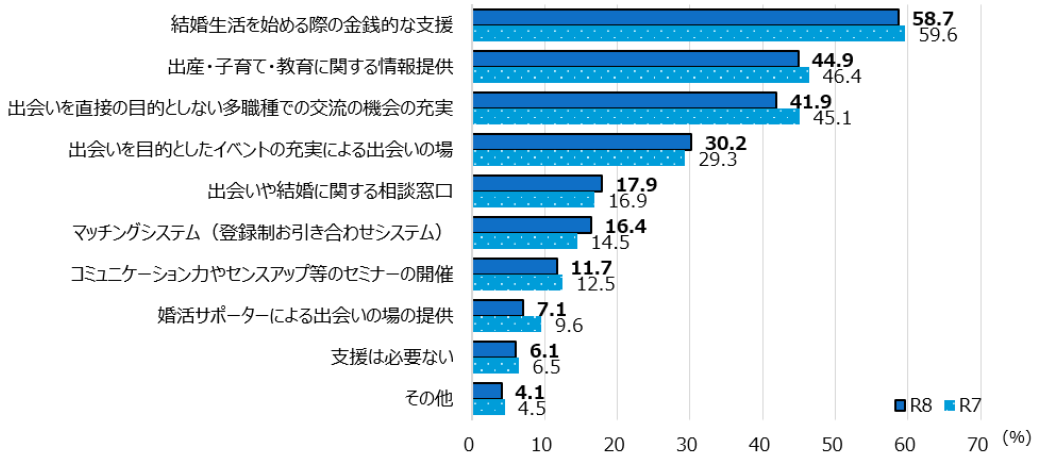
（２）結婚に向けた出会いを求めるためにとる行動

◆「友人や知人、同僚等の紹介で」「学校や職場、仕事の関係で」といった、身近な関係の中でバックグラウンドに一定の信頼感を得られるような相手を求めている。



（３）出会いや結婚に関して必要だと思う行政支援

（Ｒ8:N=1,350）
（Ｒ7:N=1,391）



調査結果の概要　⑤子育てについて

（１）持ちたい子どもの人数（理想と現実）

◆回答者平均では、理想的な子どもの人数は**2.01人**、現実に持ちたい子どもの人数は**1.65人**。

◆理想と現実ともに、持ちたい子どもの人数は「2人」の回答が最多。「3人」以上の回答が理想が現実を上回っており、現実的に多く子どもを持つことが難しいと感じている。

◆子どもがいる人の回答者平均では、理想の子どもの人数は**2.56人**、現実に持ちたい子どもの人数は**2.28人**（子どもがいない人：理想**2.01人**　現実**1.65人**）。

◆既婚者の回答者平均では、理想の子どもの人数は**2.44人**、現実に持ちたい子どもの人数は**2.12人**（未婚者：理想**1.79人**　現実**1.41人**）。

◆ 4人の子どもがいる人については、理想の子どもの人数は3.05人、現実は3.21人。4人目を境に現実が理想を上回っている。

回答者平均における理想と現実に持ちたい子どもの人数　（人）

平均	R7	R6	R5	R4	R2	R元	H30
理想	2.01	2.14	2.03	2.15	2.20	2.25	2.21
現実	1.65	1.77	1.71	1.77	1.85	1.92	1.89
差	0.36	0.37	0.32	0.38	0.35	0.33	0.32

（R8：N=1,350）（R7：N=1,391）

理想と現実に持ちたい子どもの人数の構成比　（%）

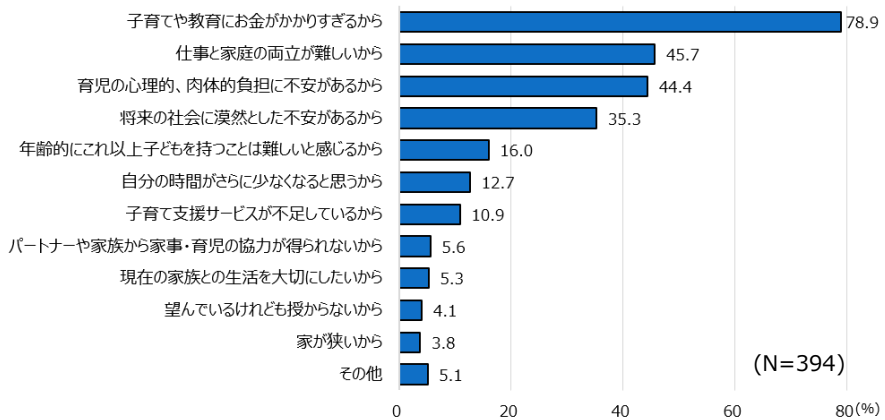
構成比	0人	1人	2人	3人	4人	その他
理想（R8）	12.8	7.3	48.4	25.8	2.7	0.7
理想（R7）	7.9	6.6	51.6	30.3	2.1	1.5
現実（R8）	18.1	16.9	46.4	14.1	1.7	0.4
現実（R7）	12.7	16.6	53.1	14.7	1.5	1.4

〔理想(R8)：N=1,319（R7）：N=1,377〕〔現実(R8)：N=1,319（R7）：N=1,377〕

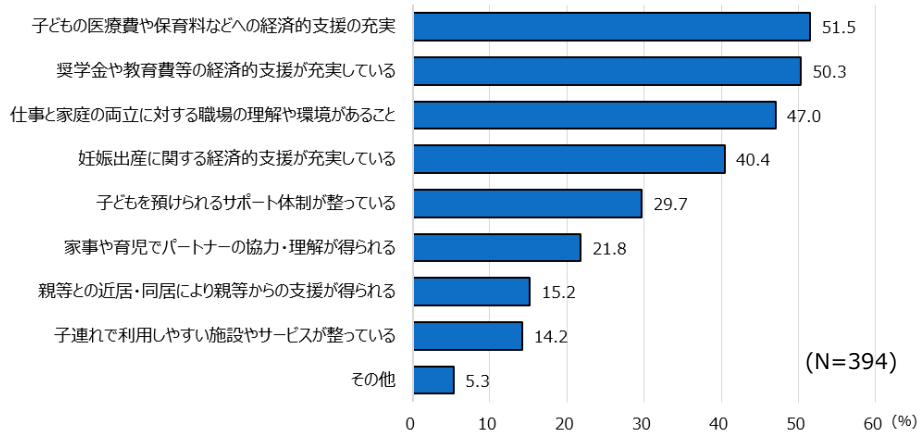
【子どものいる人（N=379）】
現在の子どもの人数に対する理想と現実に持ちたい子どもの人数　（人）

	0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
理想	2.01	1.75	2.32	2.56	3.05	3.25	2.75
現実	1.65	1.37	1.84	2.21	3.21	4.00	3.50
差	0.36	0.38	0.48	0.35	0.16	△0.75	△0.75

（２）理想的な人数の子どもを持たない理由



（３）理想的な人数の子どもを持てる環境

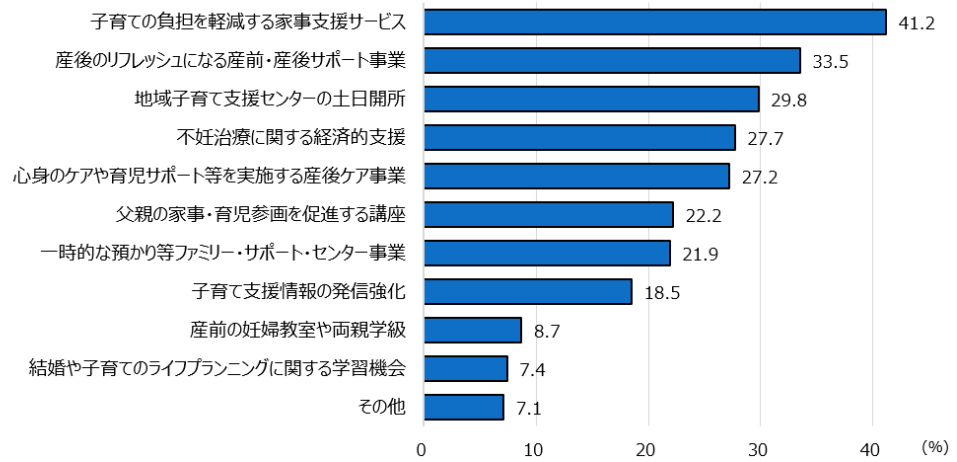


◆共働き世帯が９割近くを占めており（「結婚している」と回答した427人中396人）、経済的な理由のほかにも仕事と家庭の両立や、社会や育児に対する不安感等がハードルになっている。

調査結果の概要　⑥子育て支援について

（１）充実してほしい取組（妊娠～乳幼児期）（子育て中の方）

◆「子育ての負担を軽減する家事支援サービス」がすべての年代で最も望まれている。「子育て支援センターの土日開所」が次いで高くなっており、仕事と家庭の両立を支援する取組が望まれている。
◆年代別にみると、若い世代で不妊治療に関する経済的支援が高くなっている。



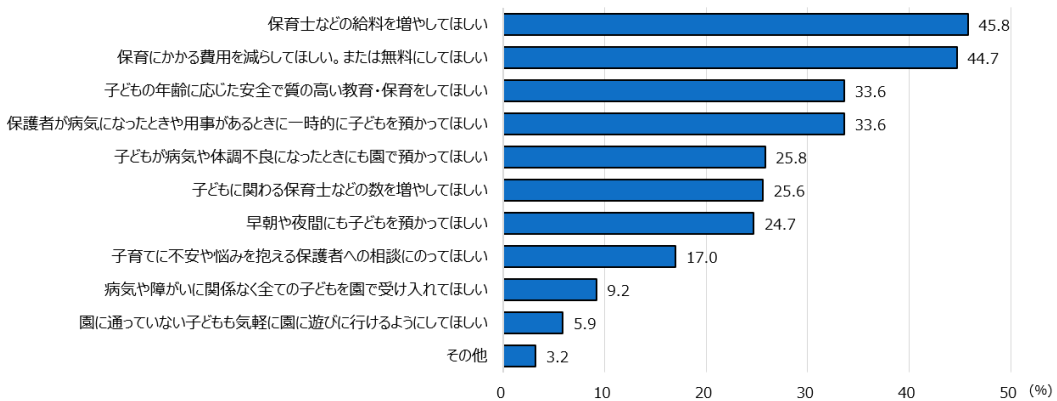
(N=379)

◆年代別の上位

	子育て負担を軽減する家事支援	子育て支援センターの土日開所	不妊治療に関する経済的支援	産前・産後サポート事業	父親の家事・育児参画を促進する講座
18-24歳	50.0%	-	-	50.0%	50.0%
25-29歳	34.9%	11.6%	30.2%	41.9%	34.9%
30-34歳	37.3%	31.0%	31.7%	31.0%	20.4%
35-39歳	46.6%	33.7%	25.8%	33.7%	20.8%

（２）保育所・幼稚園等にさらに力を入れてもらいたいこと

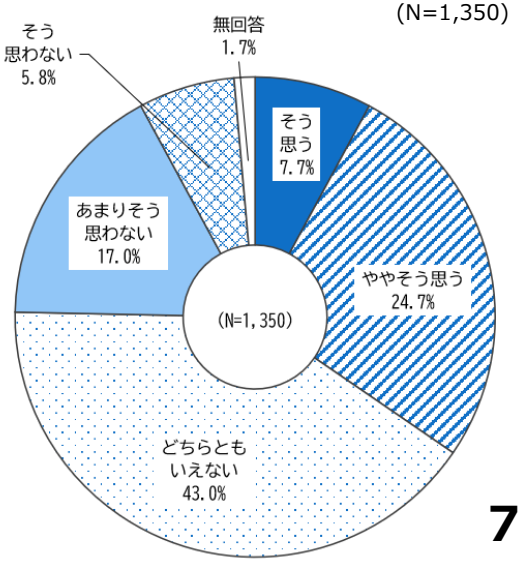
◆保育士等の給料の増加や子育ての経済的負担を軽減する施策が子育て世代から望まれていることに加え、子どもの年齢に応じた安全で質の高い教育・保育が３番目に多い結果となった。保育士の数の増加とあわせ、保育現場の充実が望まれている。
◆「保育所・幼稚園等の施設が充実していると思うか」については「そう思う」と「ややそう思う」を合わせて32.4%だった。



(N=1,350)

保育所・幼稚園等の施設が充実していると思うか

(N=1,350)

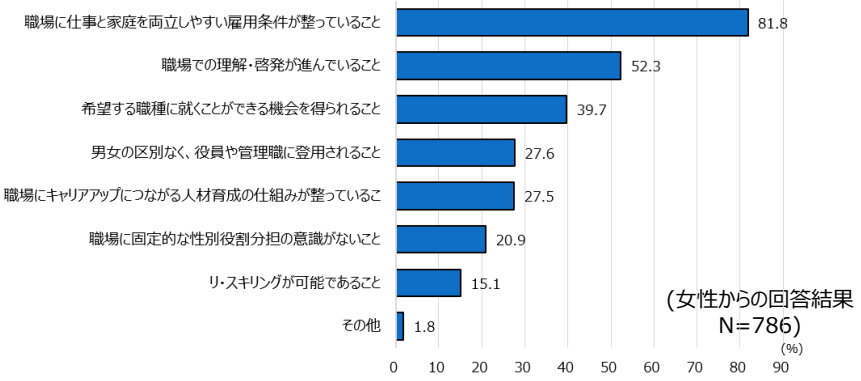


調査結果の概要　⑦ワークライフバランスについて

（１）女性が職場で活躍していくために必要なこと

◆ 「仕事と家庭を両立しやすい雇用条件」を挙げる女性が最も高く8割を超えている。

◆ 男性の回答でも女性と同じ回答が上位3位となった。



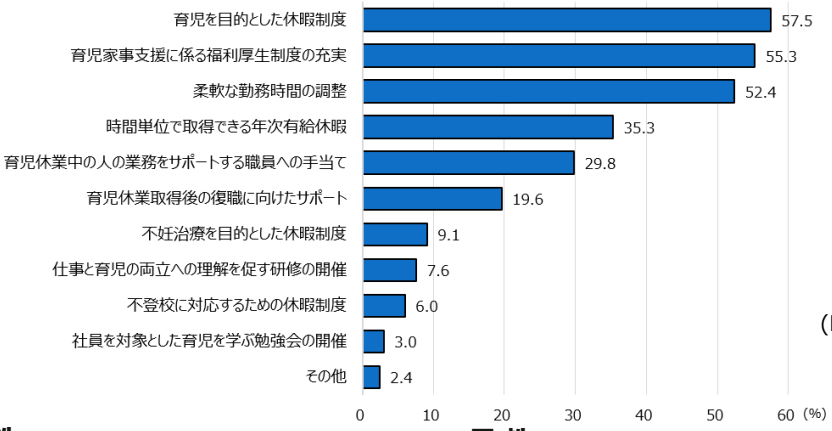
(女性からの回答結果 N=786)

男 性からの回答結果（N＝550）

1位	職場に仕事と家庭を両立しやすい雇用条件が整っていること	72.9%
2位	希望する職種に就くことができる機会を得られること	43.3%
3位	女性の活躍と柔軟な働き方について、職場での理解・啓発が進んでいること	39.8%

（２）働きながら子育てしやすい職場環境づくりに必要な支援

◆「育児を目的とした休暇制度」が最も多く、「育児家事支援に係る福利厚生制度の充実」と「柔軟な勤務時間の調整」が次いで過半数を超えている。



(N=1,350)

女 性

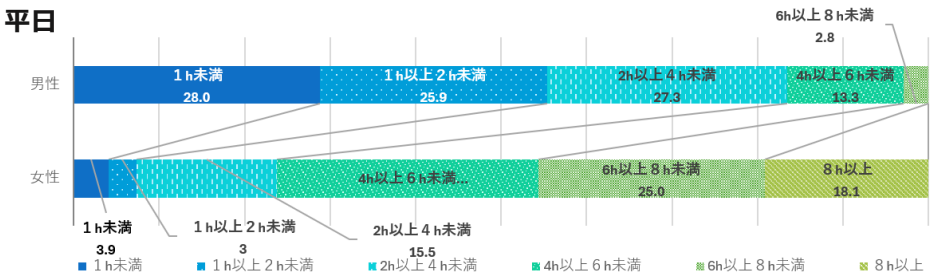
1位	育児を目的とした休暇制度	56.5%
2位	柔軟な勤務時間の調整	55.9%
3位	育児家事支援に係る福利厚生制度	53.6%

男 性

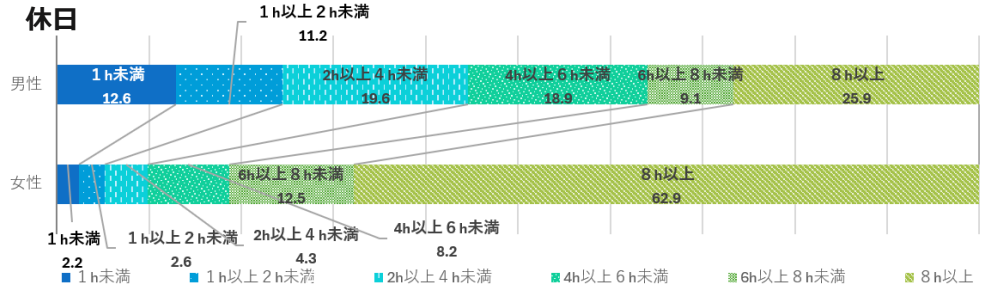
1位	育児を目的とした休暇制度	58.5%
2位	育児家事支援に係る福利厚生制度	58.0%
3位	柔軟な勤務時間の調整	48.0%

（３）１日あたりの家事・育児時間（子育て中）

◆平日に女性の25.0%は６時間以上の家事をしている（男性では2.8%）（男性 N=143）（女性 N=232）



◆休日に女性の62.9%は８時間以上家事をしている（男性は25.9%）（男性 N=143）（女性 N=232）



（４）男性の育児休業取得率向上のために　必要な職場支援

全体	1位	上司・管理職等から積極的な取得を促す声かけ	43.1%
	2位	職場復帰した際の職種やキャリアの保証	19.8%
	3位	助成金等の支援制度の拡充	17.1%

(N=1,350)

男性	1位	上司・管理職等から積極的な取得を促す声かけ	42.5%
	2位	助成金等の支援制度の拡充	17.6%
	3位	職場復帰した際の職種やキャリアの保証	16.4%

女性	1位	上司・管理職等から積極的な取得を促す声かけ	43.5%
	2位	職場復帰した際の職種やキャリアの保証	22.4%
	3位	助成金等の支援制度の拡充	16.5%